

(公財) オイスカ 四国支部

OISCA-International-Shikoku

住所	761-2103 綾歌郡綾川町陶5179-1四国研修センター内
電話番号 / FAX番号	(087) 876-3333 / FAX (087) 876-3334
代表者	会長 泉 雅文
実務担当者	事務局長 塚田 修一
連絡先	(087) 876-3333
設立年月日	1993年4月22日
構成員数	949名
ホームページ	<a href="http://www.oisca.org/shikoku/">http://www.oisca.org/shikoku/</a>
E-mail	—
活動対象国	主にアジア、太平洋地域の国と地域
国内の主な関連団体	公益財団法人オイスカ 公益財団法人オイスカ 四国研修センター オイスカ高等学校 オイスカ開発教育専門学校
外国の姉妹・友好団体	—
刊行物	OISCA会報誌(月刊)、広報誌オイスカ in 四国(年1回)
備考	—
設立目的	開発途上諸国に対するわが国が行う産業開発協力事業の推進を図ることを目的とし、あわせてこれら諸国との友好親善に寄与するものとする。
構成員資格	公益財団法人オイスカ寄付行為第2条第2項の規定にもとづき設置された四国支部に入会・所属している法人・団体および個人会員
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・普及啓発：日本各地で国際理解や環境保全に関するセミナーの実施</li><li>・環境保全：海外、国内で積極的に植林活動を展開している。</li><li>・人材育成：国際協力の分野では日本に青年を受け入れて農業や工業の技術指導をしている。</li></ul>
主な国際交流 国際協力活動	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 会員および一般ボランティア、海外研修生らが参加して、年2回程度四国内において植林活動を行っている。</li><li>2. 平成8年にはインドネシアにおける「植林5ヵ年計画」を組織決定し、平成8年8月にスマトラ島北部において1,500本、平成9年8月に中部ジャワ州で1,600本の植林を行った。平成11年ロンボク島でナンカ535本、ランブータン450本、マンゴー515本、センゴン1,500本、平成12年ロンボク島でセンゴンとマホガニー約3,500本、平成13年ロンボク島でドリアンとジャックフルーツ、ムリンジョ計4,000本の植林を行った。</li><li>3. オイスカ国際理事、研修生OB、研修生らを招き「オイスカ四国のつどい」を開催し、国内外での活動報告や懇談・会食等を行い、国際親善交流をはかっている。</li><li>4. 平成15年8月より第2期第1回「インドネシア四国の森」ロンボク島植林から継続して、平成22年7月には第2期第7回を参加者35名で実施しました。植林面積を合計すると、ロンボク島植林は108.7ヘクタールになりました。</li><li>5. 2010年よりオイスカ三豊推進協議会がフィリピン・ネグロス島でマングローブ植林を三ヶ年計画で実施しました。 2010年～2012年、毎年5,000本ずつ計15,000本のマングローブを植林しました。</li></ol>

<p>主な国際交流 国際協力活動</p>	<p>6. 2013年12月にオイスカ綾川推進協議会がミャンマーを訪問し、プロジェクト視察や地域住民との交流などを行いました。</p> <p>7. 2014年3月にオイスカ三豊推進協議会が韓国で桜やモミジなど植林活動を行いました。</p> <p>8. 2015年8月にインドネシアロンボク島を参加者25名で訪問し、小学校への校舎寄贈と植樹や地域住民との交流等を行いました。</p> <p>9. 2016年8月にオイスカ綾川推進協議会がモンゴルを訪問し、現地関係者との交流や視察を行いました。2016年11月にはオイスカ香川東推進協議会がミャンマーを訪問し、建設支援した小学校やプロジェクトの視察および地域住民との交流等を行いました。</p> <p>10. 2017年10月にパプアニューギニアを参加者12名で訪問し、研修センター開設30周年行事参加や交流等を行いました。</p> <p>11. 2018年2月にオイスカ香川東推進協議会がミャンマーを訪問し、ミャンマークロダ社オープニングセレモニー参加や研修センター視察等を行いました。</p> <p>12. 2019年1月にオイスカ綾川推進協議会がマレーシアを訪問し、マラ日本語センターやサバ研修センターの視察等を行いました。</p>
<p>その他の情報</p>	<p>—</p>

